

第3群（活動報告）

圏域を超えた協働による保健師・管理栄養士等専門職の人材育成

○東部保健福祉事務所登米地域事務所(登米保健所) 技術副参事兼技術次長(総括担当) 佐藤純子
小川美穂 北部保健福祉事務所栗原地域事務所(栗原保健所) 松野あやえ, 狩野和枝

キーワード: 人材育成, 協働, 広域ネットワーク

I はじめに

保健所には、市町村保健師・栄養士の人材育成を支援する役割が期待されており、この点については「保健活動通知」¹⁾「行政栄養士業務指針」²⁾に示されている。栗原保健所及び登米保健所は、それぞれ1市を管轄し、市との連携や調整は図りやすいが、他市町村とのダイナミックな交流の機会の確保が難しい。また、栗原市及び登米市はともに合併から10年が経過し、合併までの経過や少子高齢化の進行、住民との協働による健康なまちづくりを目指している、などの共通性がある。合併後に採用された新任期・中堅期前期の保健師・管理栄養士等は、特に他市町村との接点が少ない現状にある。

そこで今回、地域に根ざした活動を意識すること、広域のネットワークを形成することを目的に両圏域合同で企画運営会議を設置し、新任期・中堅期前期の保健師・栄養士等を対象に研修会を開催した。その結果、新任期・中堅期前期・管理期におけるネットワーク形成やエンパワメントにつながったので、その内容を報告する。

II 方法

栗原市及び登米市並びに栗原保健所及び登米保健所の新任期及び中堅期前期（経験12年以下）の保健師、管理栄養士等23名対象に、企画運営会議を設置し、集合研修（2回）及び課題シート作成を行った。

III 活動内容

1 地域保健専門技術研修会の実施

- 1回目: GW「私が活動していて大切にしていること」、東北大学名誉教授の講義「地域に責任を持つとは」
- 2回目: GW「ありがたい姿の確認」、作成した課題シートの共有・意見交換、助言・まとめ

1-1 「課題シート」とは

実践活動の中から出てくる問題意識を大切に、①ねがい「私は・・・のために、・・・したい」②現状・問題点（ねがいに至っていない理由は）③課題（ねがいを実現するために取り組みたいこと）の3項目で構成。

1-2 企画運営委員による助言指導

- 1回目: ファシリテーターとして担当グループに助言を行った。
- 2回目: 事前に提出された課題シートについて、各自の助言方針を作成、担当グループに助言を行った。

2 企画運営委員との協働

企画運営委員9名（栗原市3名・登米市3名・栗原保健所2名・登米保健所2名）による企画運営会議を4回、さらに研修会の前後に東北大学名誉教授も参加した拡大企画運営会議を2回開催した。

3 課題への取り組み状況のフォロー

2回目の研修終了後、修正した課題シートの提出を事後課題とした。受講者一人一人が設定した課題に取り組めるよう各所属での指導、支援を継続する。

IV 考察

受講者のアンケートから、研修の満足度は高く、地域に責任を持つことの意味について考え理解を深めることができたこと、他市や保健所との交流により視野が広がったこと、等の成果が確認できた。また、合併後の採用者が、先輩方が合併時に複数の町村の保健活動を統合し、現在の基礎を築いた歴史を知る機会にもなり、地域住民との協働の重要性を確認することができた。

また、各所属の人材育成を担うリーダーが企画運営会議に参画したことで、各所属の人材育成の課題の確認ができ、今後の方向性を考えることにつながった。

V おわりに

今回、圏域を超えた協働により研修の成果を得ることが出来たことから、保健所の市町村支援について、様々な工夫を重ね役割を発揮する必要があると考える。

VI 引用文献

- 1) 「地域における保健師の保健活動について」平成25年4月19日付け健発0419第1号厚生労働省健康局長通知
- 2) 「地域における行政栄養士による健康づくり及び栄養・食生活の改善の基本指針について」平成25年3月29日付け健が発0329第4号厚生労働省健康局がん対策・健康増進課長通知